



校訓

「夢を持って歩み続ける」

陽光(さん)

令和7年6月17日 第5号 文責 梶原 圭一



地域の方の温かさを感じながら

本校の教育活動は、多くの地域ボランティアの方々に支えていただき、連携・協働しながら進められています。地域学校協働活動推進員の方を通じて学習のサポート等をお願いしていますが、皆さんが快く引き受けていただいていることに感謝の気持ちしかありません。地域の方々のご協力により、充実した学習を計画することができています。

本年度も、3年生の総合的な学習の時間で、「人との出会いに学び、故郷を愛する心を育てよう」というテーマで学習を行っていきますが、菊陽町の特産物であるにんじんの収穫体験をさせていただきました。初めてにんじんの収穫を体験した子がほとんどであり、有意義な時間となりました。また、高学年の調理実習のサポートで協力していただいている方々もいます。子どもたちが安心・安全で、楽しく学習を進められるよう力を貸していただいています。

さらに、子どもたちが安全に登校できるように、暑い日も寒い日も、毎朝横断歩道や交通量の多い場所に立って、大きな声で挨拶をしながら、子どもたちを導いていただいている方も、校区には多数おられることを忘れてはならないと思います。本当にありがたいことです。

このように地域の方々の力を借りながら、ふるさとの人やもの、出来事に学びながら、菊陽町を愛する子どもたちを育てていきたいと思います。



子どもの歯と健康を守るために

学校教育目標の実現に向けた具体的取組として「う歯処置率の向上」を挙げています。むし歯を保有している子の数は、毎年それほど変化はないのですが、むし歯の治療が完了した子の割合は、昨年度が7割ほどでした。歯の健康は、全身の健康に影響してきます。子どもたちが元気に教育活動に取り組むためにも、保護者の方々と連携しながら、処置率を昨年度以上に向上できればと考えています。

養護の先生になるために本校で実習を行われていた先生が、「はみがきをしてピカピカのはになろう」というねらいで、1年生の子どもたちに歯磨きの大切さについて授業を行われました。この授業を通して、子どもたちが歯の健康に関心をもち、丁寧に歯磨きをしていってくれることを期待しています。



引き渡し訓練 大変お世話になりました

6月6日(金)に、災害時に備えた「引き渡し訓練」を行いました。平日の午後に計画しましたが、たくさんの保護者の方にご参加いただき、ありがとうございました。保護者の方々のご協力により、緊急時に子どもたちを確実に引き渡す流れを確認することができました。課題としては、当日の天気も影響があったとは思いますが、子どもたちの訓練に対する意識を高める必要があると感じました。自然災害等は、誰もがいつ、どこで出会うかわかりません。子どもたちと一緒に、「何のために訓練を行うのか」という目的を再度見つめ直し、訓練の方法等について再検討していきたいと思います。大変お世話になりました。

【お知らせ】 大雨の際に、朝から子どもたちを送ってこられる場合もあると思います。正門や南門前が渋滞してしましますが、路上での子どもたちの下車については、くれぐれもご遠慮願います。地域住民の方から危険な場面に遭遇したというご指摘も受けております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。